

浮島 (うきしま)



ため池の遠景



池に浮かんで見える神社

渡り鳥が群れるため池



ため池の概要

ため池の所在地

熊本県上益城郡嘉島町

ため池の特徴

浮島は、周辺に広がる水田地帯(65ha)の水源として重要な役割を担うため池です。その一角にある浮島神社の鎮守の森とため池水面の広がり、背景に見える飯田山や阿蘇の外輪山と調和し、独特の景観を創出しています。

四季折々の違った姿を見せ、朝霧に神社と森が池に浮かんでいるように見えることから、地元では「浮島さん」と称されて親しまれています。

池にはチガヤ、ヨシ、セキショウなどの水生植物が豊富で、また水面にはカイツブリ、カワセミが訪れ、冬にはカモが飛来します。

池の築造には、長保3年(平安時代)当時の領主が、ある夜、神のお告げで北方の山麓を掘ったところ、2ヶ所から清泉が湧いたため、更に開削を進め約2.5haの池が完成したと伝えられています。

浮島は湧水が豊富で、清らかな水を有することから数年前までは子ども達の遊水場として利用されるとともに、夏祭りの会場としても利用され、町内外から多くの来場者がありました。

地域のボランティアグループにより、毎日のゴミ拾いと定期的な除草作業が行われています。地域の環境保全に対する意識が高く、農村景観との調和がとれた素晴らしいため池です。

関連情報